

ニュース専修

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 1 司法試験に8人が合格！
- 2 公務員試験講座受講生が語る合格までの歩み……
- 3 情報科学研究所が川崎国際環境技術展参加！
- 4 スポーツ研究所「五輪延期」テーマにシンポジウム・プロジェクト 学びの成果学内外で発信……
- 5 ゼミ・プロジェクト 学びの成果学内外で発信……
- 6 石巻専修大学 SDGs モデル事業に協力……
- 7



お知らせ

「ニュース専修」3月号は
3月26日(金) 発行予定です。
最新の情報は大学ホームページ・公式Twitter、Facebookでご確認ください。

奥瀬ゼミと杉田プロジェクトが学長賞

SDGsチャレンジプログラム

対面とオンライン併用で表彰式

専修大学SDGsチャレンジプログラム2020の表彰式が1月23日、対面とオンラインを併用した形式で実施された。SDGsの達成に貢献するアイデア(提案)を募集するアイデアコンテストでは商学部・奥瀬喜之ゼミ「Share Study Project」が、具体的なアクション(実践報告)を募集するアクションコンテストでは、ネットワーク情報学部・杉田プロジェクト2020「いろ色!~自然たんけん隊~」がそれぞれ学長賞を受賞した。

〈アイデアコンテスト〉

	チーム名	タイトル
学長賞	商・奥瀬喜之ゼミ	Share Study Project
校友会長賞	商・奥瀬喜之ゼミ	使いたくなる給水機~専大生のマイボトルとSDGs普及を目指す~
育友会長賞	商・奥瀬喜之ゼミ	Cloth+ING——学生から始まるサステナブルな衣服サイクル——
グッド・SDGsアイデア賞	福々	技能実習制度の現状にみる信頼と発展の礎
	商・池部亮ゼミ	ゴミを減らすための意識改革

〈アクションコンテスト〉

	チーム名	タイトル
学長賞	ネット情報・杉田プロジェクト2020	いろ色!~自然たんけん隊~
校友会長賞	商・神原理ゼミ	ソーシャル・ビジネス~フェアトレードの認知拡大を目的としたこれまでの活動報告~
育友会長賞	文・斎藤達哉ゼミ	時代を超える変体仮名

専修大学は21世紀ビジョン「社会知性の開発」を目指す取り組みの一環として、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献する学生に表彰式を行う。同プログラムはSDGsに対する学生の理解を深め、さらには他者に影響を及ぼす存在に成長することを期待して今年度初めて企画された学内コンテスト。アイデアコンテストに16件、アクションコンテストに6件の応募があり、書類審査の結果、8チームが入賞した。審査員を務めた廣瀬玲子文学部教授は表彰式で「世帯の一つであるこのポステリアンに目を向ける人が幸せし、SDGsの意義を伝えるという目標を達成するために、メンバーとして、学内はもとよみが力を合わせて取り組む姿に勇気づけられた」とい

オンラインと対面の併用で行われた表彰式



講評を述べた。佐々木重人学長は総評として「学内のみならず企業や行政、海外の大学関係者にも審査員を務めていただき、SDGsにふさわしく多様な評価の視点を持ったコンテストになった」と話すとともに「学生たちに今回の経験を生かすように」と激励した。

アイデアコンテスト 商・奥瀬ゼミ 教科書の再利用プランを提案

商学部・奥瀬喜之ゼミでは、2年次生全員がアイデアコンテストに挑戦することになり、大西航平さんらのチームは、使用済みの教科書を回収し再利用するアイデア「Share Study Project」をまとめた。



表彰式で受賞の喜びを語る大西さん

大西さんは「入学前はSDGsという言葉さえ知らなかったが、今回の取り組みを通じて、SDGsがさまざまな社会活動に関わっていることを学んだ」と振り返った。

奥瀬ゼミでは他にも、専大生のマイボトル普及を目指すアイデアを提案したチームが校友会長賞を、衣服の大量廃棄を防ぐための仕組みを提案したチームが育友会長賞を受賞するなどアイデアが光った。

アクションコンテスト ネット情報・杉田プロジェクト 親子で取り組む自然体験企画

ネットワーク情報学部・杉田プロジェクト2020「いろ色!~自然たんけん隊」のメンバーは9人。コロナ禍でさまざまな活動が制限される中でも、親子で取り組める自然体験を目指した。



専用アプリに妖精が登場

ネット情報学部・杉田プロジェクト2020「いろ色!~自然たんけん隊」のメンバーは9人。コロナ禍でさまざまな活動が制限される中でも、親子で取り組める自然体験を目指した。

プロジェクト担当の杉田このみ講師の助言もあり、SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」、15「陸の豊かさを守ろう」を設定してコンテストに応募。田辺さんは「ゴールを当てはめてみて、自然や環境問題でもっと自分たちができることがあるのではないかと感じた」と話す。一部のメンバーはプロジェクトを卒業演習として来年度も継続する。受賞を機に発展性や汎用性の拡充に取り組みたいと意欲を燃やしている。

左から佐々木学長、及川選手、日高理事長、甘竹名誉会長



全日本優勝を報告 卓球部OB 及川選手

卓球部OBの及川瑞基選手(令2商、木下グループ)が、全日本卓球選手権大会(1月11~17日、大阪市)の男子シングルスで初優勝した。1月27日、緑生会(卓球部OB・OG会)の甘竹秀雄名誉会長(昭33商経)とともに神田キャンパスを訪れ、日高義博理事長、佐々木重人学長らに優勝を報告した。

及川選手は「在学中にいただいた支援、ご指導のおかげで優勝することができた。2024年パリオリンピックでの日本代表入りを目指し、今後も頑張っていく」とあいさつ。優勝副賞の米1トンを、学生時代を過ごした生田体育寮に寄贈する意向を示した。(8面に記事)

センバツ出場の報に喜ぶ専大松戸高野球部員=1月29日



専大松戸高 センバツ初出場!!

専修大学松戸高等学校のセンバツ出場が決定! 1月29日、第93回選抜高等学校野球大会(3月19日開幕、兵庫県・阪神甲子園球場)の出場校が日本高等学校野球連盟から発表され、専大松戸高校(千葉県松戸市、徳山齊校長)野球部のセンバツ初出場が決定した。

同野球部は、昨秋の関東地区高等学校野球大会でベスト4入りを果たした。2015年の夏の甲子園(第97回全国高等学校野球選手権大会)以来、春・夏を通じて2回目の出場となる。組み合わせ抽選会は2月23日に行われる。

オール専修での応援をよろしく願います。